

見沼
区学

見沼区の歴史と文化を
もっと知ろう

見沼区学 リサーチガイド 入門編

図書館×公民館×
博物館×区役所×
文化財保護



見沼区学リサーチガイド 入門編
編集・発行 さいたま市立春野図書館・大砂土東公民館
協力 見沼区学で連携する施設等
さいたま市アーカイブスセンター
初版発行 令和4年10月



見沼区の歴史と文化をもっと知ろう

見沼区学リサーチガイド 入門編

見沼区には、大砂土東（おおさとひがし）・片柳（かたやなぎ）・七里（ななさと）・春岡（はるおか）の4つの地区があります。各地区にはそれぞれ1館ずつ、図書館と公民館があり、さらには博物館施設が1つあります。これらの施設はそれが独自に、地域の歴史や文化を行つきました。

これらの施設が固有の役割をはたしながら、それのが「強み」をもちより、協働することで、より広く深い学びを市民の皆さんに提供することができるのではないか、このような考え方から、見沼区の歴史や文化をテーマとして、見沼区役所や、本市の歴史や文化財を所管する教育委員会の文化財保護課と市立博物館も参画して、連携講座「見沼区学」を開講することになりました。

本書は、見沼区の歴史や文化を学んでみようと思ったときに、「どっかかり」となる参考資料を紹介するものです。「見沼区学」の講座や、図書館のレファレンス機能どあわせ、本書を活用いただき、「見沼区の歴史や文化に理解を深め、あらたな魅力の発見につながる一助となれば幸いです。

もくじ

- 見沼区を知るはじめの一歩は？
見沼区の自然や地形を知るには？
○見沼区の天然記念物を調べる
見沼区のお寺や神社を知るには？
？鷺神社のなぞ
見沼区の地名を知るには？
○見沼区の遺跡を調べる
見沼区にはどんな遺跡があるの？
○見沼区の戦国時代と関わり深い岩槻城を調べる
見沼区にはどんな道があつたの？
// ハック 豊臣秀吉が見沼区にやつてきた？
見沼区の名所旧跡を訪ねてみたい
見沼区学でつながる施設等

※紹介した書名の後ろのアイコンは見沼区内図書館の蔵書情報です
■区内4館 春野 図書館 片柳 図書館 東 図書館
■にあり 区内なし 市内館にあり

見沼
区学

見沼区学でつながる施設等

大砂土東地区	片柳地区	七里地区	春岡地区

大砂土東地区	片柳地区	七里地区	春岡地区
■見沼区大和田町 Tel 684-9226 Fax 687-9901	■見沼区東宮下 Tel 686-4721 Fax 687-5575	■見沼区東新井 Tel 684-3492 Fax 687-5585	■見沼区春野 Tel 687-8301 Fax 687-8306

大宮東図書館	片柳図書館	七里図書館	春野図書館
■見沼区桜橋町 Tel 688-1434 Fax 687-9744	■見沼区染谷 Tel 682-1222 Fax 682-1444	■見沼区大谷 Tel 682-3248 Fax 687-3932	■見沼区春野 Tel 687-8301 Fax 687-8306

大宮東図書館	片柳図書館	七里図書館	春野図書館
■見沼区桜橋町 Tel 688-1434 Fax 687-9744	■見沼区染谷 Tel 682-1222 Fax 682-1444	■見沼区大谷 Tel 682-3248 Fax 687-3932	■見沼区春野 Tel 687-8301 Fax 687-8306

大砂土東公民館	片柳公民館	七里公民館	春野公民館
■見沼区大和田町 Tel 684-9226 Fax 687-9901	■見沼区東新井 Tel 684-3492 Fax 687-5585	■見沼区東宮下 Tel 686-4721 Fax 687-5575	■見沼区東宮 Tel 685-6911 Fax 687-9909

大砂土東公民館	片柳公民館	七里公民館	春野公民館
■見沼区大和田町 Tel 684-9226 Fax 687-9901	■見沼区東新井 Tel 684-3492 Fax 687-5585	■見沼区東宮下 Tel 686-4721 Fax 687-5575	■見沼区東宮 Tel 685-6911 Fax 687-9909

市立博物館	見沼文化教室	区外	いかしつたえる
■大宮区高鼻町 Tel 644-2322 Fax 644-2313	■見沼区深作 Tel 644-2322 Fax 644-2313		

市立博物館	見沼文化教室	区外	いかしつたえる
■大宮区高鼻町 Tel 644-2322 Fax 644-2313	■見沼区深作 Tel 644-2322 Fax 644-2313		

ふらべる

まなぶつながる

ふれる

しる

※ Tel・Faxとも市外局番は全て048です。
所在地の前の は本書の編集館です。

topix レフルンス

見沼区の図書館は、4館合わせて33万冊の蔵書を提供するなどにも、みなさんの資料探しや調べる手伝いをしています。図書館窓口のほか電話やホームページでメールフォームなどから、お気軽にお相談ください。

topix 伝統文化教室

見沼区では、片柳公民館では、地域の伝統文化の再生に協力しています。
■大宮区高鼻町
Tel 644-2322
Fax 644-2313

区外

さいたまの歴史文化を知るには何といつてもまずはここ！見沼区の資料も収集・保存・研究、そして展示しています。
■大宮区高鼻町
Tel 644-2322
Fax 644-2313

文化財保護課

ゆりかごから「あの世」まで、人生の場面・場面で生まれ出され地域の中で伝えたれた文化財。みなさんと一緒に、文化財を活かして伝える取組を進めています。
■見沼区堀崎町
Tel 687-1111(代表)
Fax 681-6160(総務課)
Tel 829-1723
Fax 829-1989

見沼区の名所旧跡を訪ねてみたい

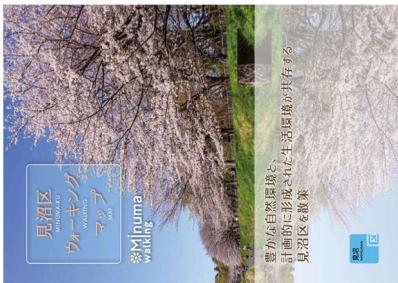
見沼区を知るはじめの一歩は？

「見沼区の道は、狭くて曲がりくねったところが多くて、わかりづらいところが多い」。そんな声を耳にすることもあります。でも、これがあれば大丈夫！歴史的な遺産である古街道跡もまじえた見沼区散策ガイドの決定版。さて、どのコースにチャレンジしようかな。

見沼区の散策にはこれがおすすめ

『見沼区ウォーキングマップ』

見沼区の今と歴史、そして自然と交歓する8つのコースを紹介しています。表紙の桜の桜並木に目を奪われますが、四季折々の楽しみ方があります。
編集発行：見沼区役所区民生活部コミュニティ課
2022年



『大宮をあるく』シリーズ

「大宮をあるく—Guide book」として大宮市教育委員会が発行した散策ガイド。「1 東部編」「9 写真でつづる～東部編～」は現在の見沼区をカバーしています。ほかに「3 川と街道」をはじめ、テーマごとにまとめた巻もあります。見沼区の歴史文化を歩くガイドブックの金字塔。刊行後のまちの発展により、変わってしまった道や景観もありますが、それらの記録としても貴重です。
編集発行：大宮市教育委員会
『大宮をあるく—Guide book 1 東部編』 1988年
『大宮をあるく—Guide book 3 川と街道』 1993年
『大宮をあるく—Guide book 9 写真でつづる～東部編～』 1996年

ほか

区見沼

『見沼区ガイドブック 知って！みぬま』

四季を通して楽しめる見沼区の花と緑やイベントはもちろん、文化財に公園、農産物からおみやげにまで。見沼区の今と魅力が満載。編集発行：見沼区役所区民生活部コミュニティ課
『見沼区ガイドマップ』

区見沼

くらしに必要な情報満載のガイドマップ。区役所・支所はもちろんなのこと、図書館・公民館・博物館に指定文化財も。見沼区の4つの地区（自治会）や区外・市外の近接地域も載っている優れもの。編集発行：見沼区役所区民生活部コミュニティ課
どちらも、区役所・区内の公共施設などで入手できますほか、ホームページでもご覧いただけます。

区見沼

見沼区の自然や地形を知るには？

豊かな緑地や水辺にめぐまれた見沼区。この見沼区の大地の成り立ち、そこに暮らす人々を取り巻く環境とその変化、そして、わたしたちが受け継いだ豊かな自然的環境。その細部に分け入り、樂しみながら、わたりしたちの環境との向き合い方も考える糸口もここにはあります。

見沼区の自然を知ることの3冊

『さいたま市史自然編（気象・地形・地質）』



さいたまの大地数十万年のあゆみと今がこの1冊に凝縮されています。区内を流れる芝川や加田屋川などの河川に関する地形等についても知ることができます。編集発行：さいたま市 2019年
『さいたま市史自然編（植物）』

草花の美しい写真にあるイラスト。それらを見ながらページをめくるだけでも楽しめます。見沼区の植物というと、区の花クマガイソウを挙げる方が多いと思いますが、食虫植物が区内に生育していることをご存じですか？

編集発行：さいたま市 2020年

『日光御成道』

『埼玉県歴史の道調査報告書第2集』

江戸幕府の將軍が日光東照宮に参詣するときに通る街道、日光御成道に設けられた膝子の一里塚がそれです（市指定文化財）。見沼区の歴史をたどると、各地を結ぶさまざまな道が通っていたことがわかります。

見沼区の道を知ることの3冊

『武蔵国郡村誌 第一巻』



1882年（明治15年）に埼玉県が編さんした圏内の地誌です。郡ごとに江戸時代以来の各村町の地誌を記しています。その中に採録された道路や橋、船などの情報は、今は失われた、あるいは今も息づく「陸の道」「水の道」を知る基本文献です。

『大宮市史第三巻下 近世地誌編』（再掲）

「見沼区の地名を知るには？」（4ページ）で紹介した、見沼区に關わる地誌の最高峰です。見沼区各地の当時の道が網羅されています。編集発行：大宮市役所 1973年

※この3冊は、図書館のほか、区役所情報公開コーナーなどで閲覧できます。

インターネットで調べてみよう

「天然記念物」

さいたま市ホームページ
トップページ>観光・スポーツ・文化>文化・芸術>指定文化財の紹介

→天然記念物

※自然的遺産のうち、特に重要なものは国・県・市の文化財に指定されて、その保存と活用が図られています。見沼区では、見沼区の花となるマカイソウをはじめ、数多くの植物が市の天然記念物に指定されています。さて、見沼区には天然記念物がいくつあるでしょうか。

見沼区にはどんな道があつたの？

見沼区には、江戸時代の一里塚が残っているのをご存じですか。將軍が日光東照宮に参詣するときに通る街道、日光御成道に設けられた膝子の一里塚がそれです（市指定文化財）。見沼区の歴史をたどると、各地を結ぶさまざまな道が通っていたことがわかります。

見沼区の道を知ることの3冊

『日光御成道』



江戸幕府の將軍が日光東照宮に参詣するための道として整備された日光御成道は、戦国時代の軍道や「鎌倉街道」の系譜を引いていたことが浮かび上がります。沿線の歴史文化遺産を詳しく記録しているのも重要です。編集発行：埼玉県教育委員会 1984年

『武蔵国郡村誌 第一巻』



『足立郡村誌』（「足立郡村誌」巻之六・七）
1882年（明治15年）に埼玉県が編さんした圏内の地誌です。郡ごとに江戸時代以来の各村町の地誌を記しています。その中に採録された道路や橋、船などの情報は、今は失われた、あるいは今も息づく「陸の道」「水の道」を知る基本文献です。

『トピックス 豊臣秀吉が見沼区にやつてきた？』



天下統一を進めた豊臣秀吉は、1590年（天正18年）7月、関東の霸者・北条氏を滅ぼすと、会津黒川城（福島県会津若松市）まで赴き、天下統一を完成させました。その帰途、秀吉は行き（往路）にも泊まつた岩槻城に一泊した上で、見沼区を横断して京へと帰ってきました。さて、秀吉どの道を通ったのでしょうか。

「天下人秀吉がやつてきた」さいたま市ホームページ
トップページ>観光・スポーツ・文化>文化・芸術>文化財>
→天然記念物
知って楽しむ文化財めざせ！さいたま考古マスター 第5回 さいたま戦国のわがり編

○ 第5回

見沼区にはお城があつたの？

西側の大宮区には寿能城といふ城があつたといわれ、東側の岩槻区には岩槻城がありました。その間にさまれた見沼区には、岩槻城に仕える戦国武将の城館があつたといわれています。どこにどんな城館があるのか、それを調べる糸口となる3冊を紹介します。

見沼区の城館を知ることの3冊

『戦国時代のさいたま -城と館からさぐる-』

〈さいたま市・岩槻市合併記念事業特別展〉

発掘調査が行われた丸ヶ崎館（丸ヶ崎）、伊達氏館跡（大和田陣屋・伊達城、大和田町一丁目）、春日氏館（中丸城、南中丸）、松野氏館（御蔵陣屋、御蔵）の4件を紹介しています。ほかに、戦国時代以降の伝えのある大久保陣屋（丸ヶ崎）と砂陣屋（東大宮一丁目）も紹介しています。編集発行：さいたま市立博物館・同浦和博物館 2005年

『大宮市史第二巻 古代・中世編』

中世編の第5章で城館跡を取り上げています。発掘調査が行われる以前の刊行ですが、上記と同じ4件を取り上げ、当時の地形図や地表面観察から推測される遺構を示している点は貴重です。また、大和田陣屋のところでは、史料上確認できない伊達氏との関わりには何う言及していないことでも、学術的に意義のあることです。

編集発行：大宮市役所 1971年

春

片

『寿能城と戦国時代の大宮』〈第13回特別展示図録〉

ここでも同じ4件を紹介しています。大和田陣屋遺跡を戦国時代最後の岩槻城主北条氏房の重臣伊達房実の居城「伊達城」として積極的に位置づける一方で、江戸時代の村絵図では伊達氏の陣屋は別の場所に記されていることも並記しています。編集発行：大宮市立博物館 1990年

○ インターネットで調べてみよう

- 見沼区の戦国時代と関わり深い岩槻城を調べる

「岩槻城跡を探る」さいたま市ホームページ
トップページへ観光・スポーツ・文化へ文化・芸術へ文化財へ
知つて楽しむ文化財へ深掘り文化財

※4ページで紹介した「めざせ！さいたま考古マスター」コンテストの右図のアイコンからもアクセスできます。



見沼区のお寺や神社を知るには？

地域の歴史と文化に深いかかりをもつお寺や神社。見沼区のお寺や神社を知るにはまずはこの2冊。なあ、発掘調査の進展によりつて、平安時代の見沼区にお寺があつたらしいことともわかつてきました。



お寺の存在を示す文字が記された平安時代の土器（丸ヶ崎出土）

見沼区のお寺や神社を知ることの2冊

『さいたま市史民俗編Ⅰ 社寺の信仰』

見信仰の場であるとともに、地域の人びとのつながりを育み、遠方や近在の人びとの旅の目的地ともなってきた神社やお寺、それにお堂。その今を紹介します。編集発行：さいたま市 2022年
※図書館のほか、区役所情報公開コーナーなどで閲覧できます。

『埼玉の神社 北足立・児玉・南埼玉』

宗教法人登録されている神社を近代の郡ごと・市町村（平成の大合併以前）単位で、神社の名称順（五十音順）に紹介しています。
見沼区内の神社は26社が掲載されています。
編著：埼玉県神社庁神社調査団 発行：埼玉県神社庁 1998年

// こんなことがわかります

？ 鷺神社のなぞ



見沼区大和田町に鷺神社（わしじんじゃ）という神社があるのをご存じですか？地域の歴史や伝統行事に関心のある方なら、「久喜市にある鷺宮神社に關係のある神社かもしないよ」とか、「緑区南部領辺にも獅子舞が行われる鷺神社があるよ」って教えてくれるかもしれません。そう、鷺神社は久喜市の鷺宮神社が本社といわれる神社です。元荒川より東側の、中世に太田荘（おおたのしょう）という莊園の範囲だった地域に多くまつられています。見沼区に「なんぶ」と呼ばれていました。上に紹介した『さいたま市史民俗編Ⅰ』には、鷺神社の詳細な分布図が掲載されています。見沼区内にはほかにも丸ヶ崎と風渡野に鷺神社がまつられています。この地域が中世から近世に「なんぶ」と呼ばれた地域であることと関係する可能性も指摘されています。

見沼区の多くの範囲が属していた「なんぶ」地域。鷺神社はこの「なんぶ」地域の豊かななまみを物語ついている可能性を秘めているのです。※図は『さいたま市史民俗編Ⅰ』より



見沼区の地名を知るには?

たとえば見沼区には「大砂土東（おおさとひがし）」という地区があります。小学校や公民館の名前にもなっていて、地区の人にとっては当たり前のようを使われていますが、よくよく考えてみると、不思議な地名。地域の歩みのいき証人である地名を知るには、この3冊。

見沼区にはどんな遺跡があるの？

見沼区には、旧石器時代から戦国・江戸時代までの遺跡があります。もしかしたら、みなさんの足元の下にも、大昔の人びとのくらしの跡が眠っているかもしれません。



東北原遺跡出土亀形土製品
(埼玉県指定文化財)

見沼区の地名を知るこの3冊

見近世地誌編第三卷下

明治22年（1889年）、江戸時代以来の町村の大合併により誕生した近代町村単位で、旧大宮市域の町村の地名や昭和40代の景観などが丹念に記録されています。見沼区域は、「旧大砂十村」「旧片柳村」「旧七里村」「旧春岡村」に収められています。

『日本歴史地名大系11 埼玉県の地名』
平成の市町村大合併以前の市町村ごとに、主に大字（おおへ戸時代の村）や中世の地名、主要な寺社・史跡などを紹介します。市町村の冒頭には、市町村の歴史の概説もついています。発行：平凡社 1993年

『角川地名大辞典11 埼玉県』
主に大字単位で主要な歴史地名が五十音順に紹介され、後半には
市町村ごとの地誌が併載されています。資料編の小字一覧も貴重
です。発行：角川書店 1980年（1991年）

○インター字シートで調べてみよう

目次

「さいたま市遺跡地図」さいたま市ホームページ
トップページへ観光・スポーツ・文化へ文化・芸術へ文化財へ埋蔵文化財へ
さいたま市地図情報



または、トップページから「めざせ！さいたま考古マスター」を検索、好きなコンテンツを開いて、右のアイコンをクリック

卷之三

見沼区の遺跡を知るには、まずこの5冊から

『さいたまの貝塚』<第25回企画展図録>

『さいたまの縄文時代～まずは後晩期から』

東北原遺跡（東大宮四丁目）や小深作遺跡（小深作）はさいたまを代表する縄文時代後期・晩期の遺跡。編著発行：さいたま市立博物館 2006年

台地と低地（谷）が入り組んだ見沼区の大地には、稻作を行う弥生人たちのくらしの跡が数多く残されています。三崎台遺跡（片柳）にA-214号遺跡（大和田町二丁目）、鎌倉公園遺跡（御園）…。編集発行：さいたま市立博物館 2011年

『さいたまの古墳』〈第32回特別展図録〉

『遺跡から見る奈良・平安時代のさいたま
一大久保領家遺跡と氷川神社東遺跡ー』
<第21回企画展図録>

見沼区には、普通の集落のほかに、土器づくりを行う御巣巣山中遺跡（御巣）、鍛冶（鉄製品生産）を行った高台山遺跡（東大宮三丁目）など、特徴的な遺跡があります。編集発行：さいたま市立博物館 2010年